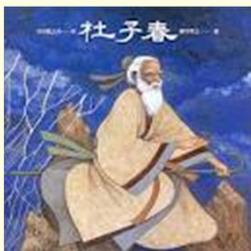


# 『吉永さゆりと橋幸夫と鼻歌と理念』の関係



みなさん、こんにちは！年度末工事に引き続きGW工事ご協力ありがとうございました！皆さんのおかげで無事、何事もなくすべての工事を完了することができました。

5月6日夜、ほっと胸をなでおろしながらもやり遂げた感慨に独り浸り、事務所のカギを締めて帰ろうとしたらまだ、木戸君が残っていました。連休で使いまくった消耗品を明日からまたすぐに誰かが使えるように補充してくれていたみたいでした。入社してまだ1年のとても自分表現下手で無口な新人さんが自らすすんで最後方で援護してくれている組織は最幸ですね。泣けてきました。

今のテクアの経営理念は『自己成長の道を歩む』なのですが、もっと上流にさかのぼって『俸せになろうよ〜♪』にしようと思っています。

おおざっぱで曖昧すぎて経営理念になるの？どうやって企業経営、日々の社員の営利活動に落とし込むの？と指摘されてしまいそうですが、それでもいいんです。

いつも社員の頭の中でこのフレーズが響いていて、ボルトナットを締めているときに鼻歌でなにげに出てくるようなそんな和音、色彩、イメージ、気分、響きが常に充満している感じがあるといいなあと思います。この気持ちを英語で曖昧に言うとなると"I'm loving it!"(いいかも〜!)という感じでしょうか？

『もしもし、さっきから長瀬剛さんやマクドナルドさんのコピーのまねっこ状態ですがそんな軽くていいんですか?』と突っ込みを入れられそうですが、いいんです！

自分的にはこの言葉を深掘していくと『禅』『十牛図』『杜子春』『桃源郷』『桜島』『知覧特攻平和会館』なんていうキーワードがぞろぞろ出てしまうほど思い入れを持った言葉なんです。でもこれを軽くしないと鼻歌として出てこない。堅苦しくて誰も覚えていない経営理念ではなく、鼻歌で思わず出てしまうような経営理念、それが会社の雰囲気を作り、安全と品質と教育伝承の質を作り、社会貢献の意欲を高めてくれる、そう願っています。

以前、経営指導をされていらっしゃるご高名な講師の方に『日本の経営理念はなんですか?』という質問をしたことがあります。自分の質問が単純すぎたのか一瞬うっと詰まって『それは日本の総理大臣が考えることでしょうか?』とその方はおっしゃられました。今の日本の1番の問題はこの単純すぎる気分(理念)が行き詰っているということではないでしょうか？

昭和であればこの鼻歌ですね〜。吉永さゆりさんと橋幸夫さんの『いつでも夢を』！

<http://www.youtube.com/watch?v=i4jB3H1nj4g&feature=fvwrel>

歌詞も昭和の理念になっていますが、吉永さゆりさんの瞳に希望が、橋幸夫さんの雰囲気にも真摯さが宿っています。ぜひYouTubeでご確認ください！！

5月5日のこどもの日について日本中の原発が止まってしまいました。もし可能なら、このまま止まっていってもらいたいと願う日本人が70%だそうです。なんとかみんなで頑張って集団自殺しないでこの難局を乗り越え、新しいエネルギー開発を日本人が世界の先頭を切って進めていけば新しい鼻歌が日本中の職場から聞こえてくるのではないのでしょうか？

すべてを学びに すべてを笑いに すべてを感謝に変えて成長し続ける鼻歌交じりのその達人を共に目指しましょう！！



感謝！羽原篤史